

令和元年度 学校関係者評価結果報告

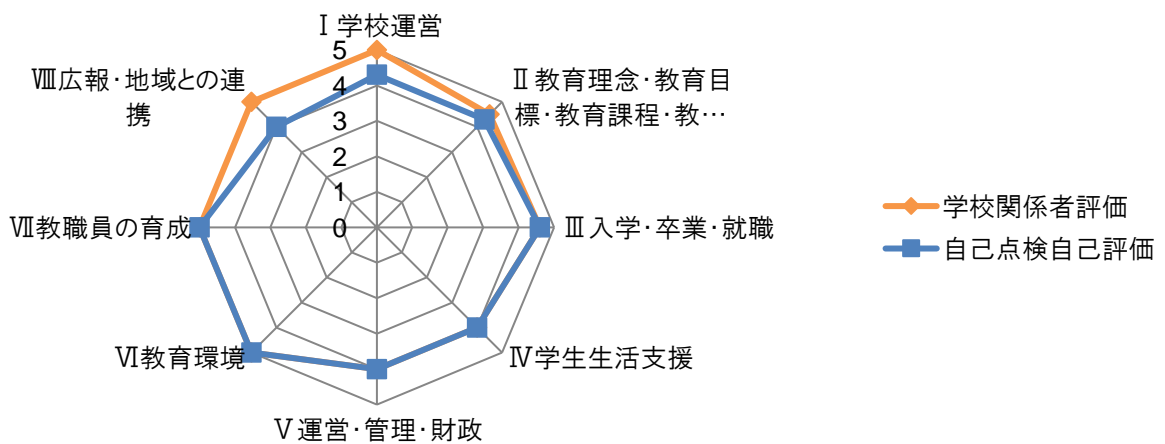
目的

自己点検・自己評価結果の客観性と透明性を高めて学校運営の改善を図るために、看護・教育等に指揮権や経験を有する学識経験者の「学校関係者評価委員」の方々に、令和2年3月28日に、内容を評価していただきました。

学校関係者評価委員としてご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。今回の評価結果を受けて今後も改善を図り、本校教育の充実を進め、地域社会に貢献できる看護職の養成に努めてまいります。

学校関係者評価委員 入山 玲子（大阪府済生会野江看護専門学校 副校長）委員長
 江木さよ子（岡山済生会看護専門学校 同窓会会長）
 槌田 洋子（岡山済生会総合病院 看護部長）
 高尾 海青（岡山済生会看護専門学校 平成30年度卒業生）

(8領域36項目の結果) 評価基準 満たしている 5 3 1改善すべきである



カテゴリー	自己点検 自己評価点	学校関係者 評価点	学校関係者評価 総評
I 学校運営	4.3	5.0	設置者の意思・指針を明確にするための組織目標に対して、評価が行われ、次年度の目標につなげることができている。また、教育課程は、組織の特徴を活かし学校の独自性が盛り込まれた内容になっている。教育活動においては、学生の単位取得に向けた支援や成績不振者への支援、国家試験対策等を定期・不定期に実施しており、充実した内容となっている。次に、卒業生支援のためのホームカミング日を次年度から実施すること、また、学生のメンタルヘルスのために、不定期に行っていた学生のカウンセラーによるカウンセリングを、次年度からは定期的に行うことが計画されている。ぜひ実施してほしい。教育環境については、施設・設備、その運用を合わせてよく整備されている。また、教職員が、相互に研鑽できる環境が整っている。学校のホームページについては、受験生や在校生に客観的な評価をしてもらえると、より良い内容にすることができるので是非やってほしい。 最後に、学校関係者評価の結果、自己点検・自己評価8領域36項目の評価指標の内容や項目数、評価の配点の見直しが必要な部分が明確になったので、検討していく必要があると考える。
II 教育理念・目標・教育課程・教育活動	4.3	4.5	
III 入学・卒業・就職	4.6	4.6	
IV 学生生活支援	4.0	4.0	
V 経営・管理・財政	4.0	4.0	
VI 教育環境	5.0	5.0	
VII 教職員の育成	5.0	5.0	
VIII 広報・地域との連携	4.0	5.0	